

◎ 教育目標



よく考え学ぶ子
思いやりのある子
元気でよく働く子

みどりっ子

日光市立大室小学校



学校だより
No. 5
H25. 7. 9

学校・家庭・地域との連携を見直しています

教育の最終的な目的は、子どもに人間力や社会力を育むことです。そのような力を子どもに育むためには、学校の教育力だけに任せるのではなく、学校・家庭・地域がそれぞれ連携しながら、同じ目線で取り組んでいくことが大切です。

本校では、学校・家庭・地域が連携するために、①学校の取組を知ってもらいます。②学校に地域の教育力を取り入れていきます。③「地域の中の大室小学校」として地域に貢献していきます。

これらの3つの取組を通して、学校・家庭・地域との連携の見直しをしていきます。

学校支援ボランティア活動

学校支援ボランティア活動とは、学校・家庭・地域が連携・協力しながら、地域ぐるみで子どもを育てることを目的とした活動です。

様々な技能や能力をお持ちの地域の大人の方々に積極的に授業等に入っていただくことで「地域の教育力」を生かした教育活動が期待されます。

本校では現在、子どもたちのために役に立ちたいという熱い思いをお持ちの方が13名、名乗りを上げてくださっています。

6月28日には2年生の地域探検活動において、グループ活動の支援として6名の方がボランティアとして活躍していただきました。



左の写真は、見学先で子どもの指導をしてくださっている様子です。2名の大人の方が学校支援ボランティアです。

ボランティアの方は、見学指導の他にも移動中の安全指導を行うなど、子どもたちのために活動していただきました。

ありがとうございました。



※ 授業参観日には、6年生の社会科の授業において、水墨画講師として1名の方が参加していただきました。子どもたちは貴重な体験をすることができました。

大室小瓦版の設置

校門前と体育館駐車場入口に、写真のようなものが設置されているのを御存じでしょうか？

これは、地域の方に向けて本校の取組をお知らせする「掲示板」です。「大室小瓦版」と名付けました。

インターネット環境にない方に向けて、そして、学校周辺を散歩される地域の方に向けて、本校の取組を発信しています。

「学校の取組を知ってもらう」ために行っています。



地域貢献

学校は地域の中にあります。そして地域の方々（地域の教育力）のお世話になっています。ならば、学校も何らかの形で地域に貢献すべきだと思います。

そこで、子どもたちにもできる「地域貢献」として考えたのが「ごみ拾い」です。企業や店舗の職員がよくやっている「清掃活動」がヒントになりました。

現在、生活科や社会科見学での「ごみ拾い」をこっそり推奨しています。引率者の指導と管理上無理のない範囲で、「地域の中の大室小学校」としての貢献度を示していきたいと思っています。



※ 「地域貢献」をしている子どもたちを見かけたら、「ありがとう」の声をかけていただくと、励みになります。